

鳥海ダムだより

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所

第85号

2020.9.15
発行

御法川国土交通副大臣が鳥海ダム視察に訪れました！ ～県内2つのダム建設現場を視察～

令和2年9月12日（土）、御法川国土交通副大臣が秋田県入りし、成瀬ダム工事現場（雄勝郡東成瀬村）と鳥海ダム建設予定地をそれぞれ視察されました。

当日は午前中に成瀬ダム工事現場を視察され、同日午後、いよいよ本格的な建設段階に入った鳥海ダム建設予定地に到着し、そこで佐藤鳥海ダム工事事務所長よりダム本体関連調査や生活再建のための用地補償等の進捗状況等について説明を受けました。その際、「ダムを築造するためには現在の地面の下を約40m掘り下げなければならない」こと等の事務所長からの説明に対し副大臣からは、「施工中の定期的な定点写真を撮影することが必要である」旨のご助言を頂くとともに、「今回ダム本体の施工前の状況を確認出来たことから、今後も機会を見て進捗状況を確認したい」とのお言葉を頂きました。鳥海ダム工事事務所は、今後とも事業の一層の進捗に努めてまいります。



鳥海ダム建設予定地での視察風景



佐藤事務所長からの説明を受ける御法川副大臣

畑中喜右衛門慰霊祭が行われました！！

～ 子吉川の河川改修に尽力した偉人の慰霊祭へ参列 ～

令和2年9月7日(月)に、由利本荘市吉沢地内にある「畑中喜右衛門碑」前にて慰霊祭が行われました。

畑中喜右衛門は、子吉川の洪水による河岸の洗掘を防ぐため、代官所に対して何度も河川改修の願い出を行ったのですが、度重なる願い出に腹を立てた代官から逆に憎まれ、ついには農民扇動の罪で万治元年(1658年)9月7日に打ち首にされました。

処刑される際に畑中は、「我なき後も靈魂はここにとどまり、必ず川の流れを変えるであろう」と遺言を残したとされています。そしてその遺言のとおり、後に発生した洪水によって河道が変わり、それにより一帯の新田開発が進んだとされています。

慰霊祭は毎年この日に行われており、今年度は、秋田河川国道事務所からは富樫子吉川出張所長が、また、鳥海ダム工事事務所からは菊池調査設計課長の他、市などからも職員が参列して、しめやかに行われました。

子吉川の洪水から地域を守るため、我々鳥海ダム工事事務所職員もダム事業の進捗に引き続き努めていきたいと考えております。



「降神の儀」の状況



関係者による玉串奉奠



供養碑(左)と銘板



供養碑近くから子吉川方向を望む

鳥海ダム建設事業の流れ(今後の予定)

○環境影響評価完了



○基本計画告示



○用地補償基準妥結

○用地補償契約



現在
○工事着手
(道路・転流工)



○ダム本体工事

道路完成

○付替道路

供用開始



○試験湛水

(開始・終了)



●事業完了

(竣工)

編集後記

季節も既に9月の中旬となりました。寒さが徐々に増してくる季節です。夏の疲れは完全に取れましたでしょうか？これから本格的な稲刈りのシーズンです。農家の方々をはじめ、色々忙しい時期となってきますが、朝・晩の肌寒さで体調を崩されることのないよう、充分に注意してお過ごし頂ければと思います。

安全・安心の子吉川に抱かれて、より豊かに暮らせる、わたしたちの郷土のために。

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所

〒015-0885 秋田県由利本荘市水林408番地

TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス thr-chokai01@mlit.go.jp